

少数台数のリコール届出の公表について (令和3年7月分)
------------------------------

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和3年7月は9件の届出がありましたので公表します。

## 1. 届出者：新明和工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作日
7月5日	4986	車名：ニッサン 型式：CBF-SQ2F24 通称名：アトラス	2	令和3年3月17日
不具合の部位等	テールゲートリフタ装着車において、リヤコンビネーションランプに使用する配線の固縛が不適切であったため、配線が垂れ下がるものがある。そのため、配線と排気管が接触し配線が損傷して、運転者席側のリヤコンビネーションランプが不点灯となり、道路運送車両の保安基準第37条（尾灯の基準）、第39条（制動灯の基準）、第40条（後退灯の基準）、第41条（方向指示器の基準）、第41条の3（非常点滅表示灯の基準）に適合しないおそれがある。			

## 2. 届出者：ドゥカティジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
7月6日	外 3236	車名：ドゥカティ 型式：2BL-AC00 通称名：マルチストラダ 1260 S 他	44	平成30年2月9日～ 平成30年4月4日
不具合の部位等	サイドスタンドにおいて、可動部（サイドスタンドアーム）のアーム支点と脚部の溶接が不適切なため、駐車中の車重に耐えられず、溶接部が破損するものがある。そのため、駐車中にサイドスタンドが外れ車両が転倒するほか、最悪の場合、走行中にサイドスタンドが脱落し、他の交通の妨げとなるおそれがある。			

3. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月8日	外 3245	車名：メルセデス・ベンツ 型式：4BA-253964 他 通称名：メルセデスAMG GLC43 4MATIC 他	34	令和2年12月15日～ 令和3年1月21日
不具合の部位等	エンジンの点火コイルにおいて、生産管理が不適切なため、絶縁部に使用される樹脂に誤った混合物が使用されているものがあり、絶縁性能が低下することで影響を受けたシリンダが失火することがある。そのため、エンジンの出力が低下するとともにエンジン警告灯（M I L）が点灯し、最悪の場合、排出ガスが基準値を超えるおそれがある。			

4. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月8日	外 3246	車名：メルセデス・ベンツ 型式：5BA-247647M 他 通称名：GLB250 4MATIC 他	34	令和元年10月9日～ 令和2年12月14日
不具合の部位等	前席左右のフットウォールにおいて、パネル合わせ部のシーリング処理作業が不適切なため、車室内に雨水が浸入するものがある。そのため、床下が浸水して電気配線に腐食や短絡が発生し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止するおそれがある。			

5. 届出者：フォルクスワーゲングループ ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月15日	外 3247	車名：ベントレー 型式：7BA-BBDDDB 他 通称名：フライングスパー W12 他	63	令和2年1月27日～ 令和3年3月19日
不具合の部位等	エアバッグ電気回路において、ハーネスを製造する際の製造指示が不適切なため、エアバッグコンピューターの配線がコネクタに正しく接続されていない。そのため、助手席エアバックスイッチがオフの状態車両が衝突した場合、運転席及び助手席のニーエアバッグが正しく作動せず、乗員が傷害を負うおそれがある。			

6. 届出者：フォルクスワーゲングループ ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 日
7月15日	外 3249	車名：ベントレー 型式：7BA-BADCU 通称名：ベンテイガ V8	1	令和2年12月17日
不具合の部位等	ガソリンエンジンにおいて、サプライヤーの製造工程が不適切なため、エンジンブロックに亀裂が発生しているものがある。そのため、使用過程において亀裂が悪化することにより、エンジンオイルが漏れ出し、最悪の場合、漏れ出したエンジンオイルが排気管に付着し、火災に至るおそれがある。			

7. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月20日	外 3257	車名：メルセデス・ベンツ 型式：不明 通称名：C i t a r o - G	33	平成28年8月22日～ 令和2年1月29日
不具合の部位等	連節バスにおいて、(1) 車軸に装着されているエアスプリングのピストン取付ボルトが規定トルクで締付けられていないものがある。そのため、使用過程で当該取付ボルトが緩んでピストンが脱落するおそれがある。(2) センターアクスルに装着されているホイールハブキャリアの取付ボルトが規定トルクで締付けられていないものがある。そのため、使用過程で当該取付ボルトが緩み、最悪の場合、ホイールハブキャリアごとタイヤが脱落するおそれがある。(3) 後処理装置コントロールユニットの制御プログラムが不適切なため、尿素水の温度センサーが故障した際に警告灯が点灯しない。そのため、ドライバーが当該センサーの故障を検知できない。			

8. 届出者：ポルシェジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月21日	外 3238	車名：ポルシェ 型式：3BA-G2ML1 他 通称名：P a n a m e r a 他	14	令和3年3月22日～ 令和3年4月15日
不具合の部位等	緩衝装置において、右側フロントロアアームの鍛造加工が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、当該ロアアームが走行中に破損し、最悪の場合、ハンドル操作が正常に行えなくなるおそれがある。			

## 9. 届出者：酒井重工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月30日	4991	車名:サカイ 型式:— 通称名:SW504	87	平成30年2月1日～ 令和3年6月11日
不具合の部位等	ロード・ローラの排気装置において、排気管取付用ブラケットの強度が不足しているため、当該ブラケットが折損するものがある。そのため、そのままの状態を使用を続けると、走行時の振動等により排気管固定用クランプの折損および排気管に亀裂が発生し、最悪の場合、排気管が落下するおそれがある。			

【参考】

●令和3年7月のリコール届出件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	12 (-8)	10 (±0)	2 (-8)
輸入車	21 (+6)	14 (+4)	7 (+2)
計	33 (-2)	24 (+4)	9 (-6)

※ ( ) 内は、対前年度同月比

●令和3年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	22(+5)	14(-5)	36(±0)	466,015(+255,955)	15,775(-100,519)	481,790(+155,436)
5	16(+5)	6(-5)	22(±0)	634,491(+553,616)	29,239(+15,312)	663,730(+568,928)
6	22(+6)	21(+10)	43(+16)	1,337,768(-654,056)	6,813(-2,725)	1,344,581(-656,781)
7	12(-8)	21(+6)	33(-2)	238,458(+55,201)	81,554(+10,756)	320,012(+65,957)
小計	72(+8)	62(+6)	134(+14)	2,676,732(+210,716)	133,381(-77,176)	2,810,113(+133,540)

※ ( ) 内は、対前年度同月比

(問い合わせ先)

国土交通省自動車局審査・リコール課 リコール監理室 溝手・伊藤 電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42361)
---